

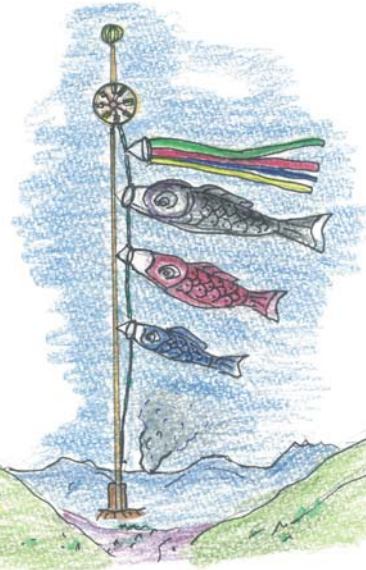
晴耕雨読 53

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
補償コンサルタント登録
〒869-1234 【※本社が北区弓削に移転しました】
熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol.53 May 2019 seikouudoku

新元号の令和を迎え、史上初の10連休！
皆様におかれましては如何すごされたでしょうか？

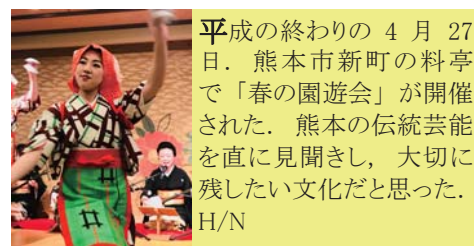
● 端午の節句



古来より、本格的な暑さがはじまる前の時期に無病息災を願う行事として「端午の節句」があります。江戸時代より子供の健やかな成長を願って鯉のぼりが掲げられるようになったそうです。一番上の駕籠玉は神様からの目印、その下の矢車と吹き流しは魔除け。奇数が重なる日は悪いことが起こるとされていた為、厄を払い子供の成長を願うわけですね。 H/N

1964年東京オリンピック以降、五輪の色である赤・青・黒・緑などが鯉のぼりに反映されるようになったそうです…

● 春の園遊会を楽しむ



平成の終わりの4月27日、熊本市新町の料亭で「春の園遊会」が開催された。熊本の伝統芸能を直に見聞し、大切に残したい文化だと思った。 H/N



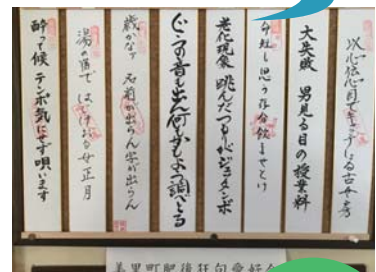
宇土マリーナのツバメさん

古くからツバメは福を呼ぶ、幸運を運んでくると大事にされ、ツバメが家に巣を作ると幸運の目印のようですね〜♪

● 武者のぼりは全国区じゃない？

幼いころから見慣れている鯉のぼりと武者のぼり。実は武者のぼりは、甲州・中部・一部の九州地方だけの風習なんだそうです。テレビで放送されているのを見て知り、驚きました(笑) 地方によって端午の節句の祝い方は違うんですね…。近年鯉のぼりの杉を切り出す職人の高齢化により、柱用の杉の確保が困難となるようで、現在国を挙げて生産性革命、働き方改革が推進されている中で、日本古来の伝統文化を根絶やしにしない技術の伝承、働き手の確保が重要と考えます。 K/N

美里町の玄関に貼ってある狂句



小用で美里町を訪ねた際に目に留まりました。皆さんはどれにピン!!! とときましますか??



「令和元年」厳しい寒さのあと、美しく咲き誇る梅の花のような希望に満ち溢れた時代にしていきたいとの意味が込められ、「令和」という字が選ばれたんですね。皆さん令和時代をどのように過ごしますか??

私たちのおすすめスポット

熊本に発登場!!



上の写真は、美里町に OPEN したフォレストアドベンチャー。フランス発の自然共生型アウトドアパークです。「自分の安全は自分で守る」がココの大原則！条件は大人も子供も一緒。樹木間の綱渡り、高さ13mのプラットホームから飛び降りたり、120mを超えるダム湖の上をケーブルで横断するなど、子供や若い人達は簡単に進むのですが、いざ自分の番になると足がすくみます(笑) 童心に戻り遊びました。翌日からやってくる筋肉痛の事など考えずに…。 I/O

いちご get 社外清掃時にイチゴの位置を要確認。連休明けに見に行くと、真っ赤に熟したイチゴを見つけwww

41年ぶりのソウル旅

白黒画面の風景はフルカラーに変わっていた。当時の面影はソウルの旧市街にある景福宮(王宮殿)の周辺に少し残っていたが何もかも様変わりでした。東大門で食べた「タッカンマリ」(鶏肉をまるのまま使う鍋料理)の味と店のにぎわいは私の記憶とほぼ一致していてとても嬉しかった。韓国の電源開発の一環として北朝鮮国境から南へ約60Kmの位置にある「清平揚水発電所建設工事」のため、韓国へ出張したのは、1978年1月であった。41年ぶりに聞いた「ハニョハセヨ オソーセヨ」(こんにちは どうぞお入りください) はなつかしい響きでした。 N/S

風土資産の活用!!



仕事でチョコチョコ訪れる小国町。GW中は観光客が多く滝から500m程離れた旧蓬萊小学校から臨時シャトルバスが出ており、滝到着まで1時間ほどかかりました。少し足を延ばせば自然に癒される場所があることに感動出来た1日でした。 N/M

Recommended Spot

やばいよやばいよ〜！でお馴染みの出川さんが事務所近くにCM撮影で来られていました。最近では「イッテQ」の印象が強く、この日も沢山の子ども達に囲まれていました(笑)

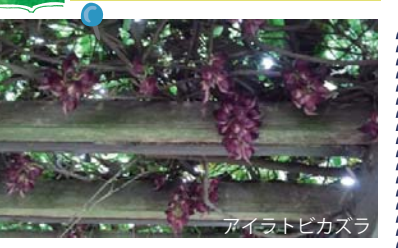


150年前のお皿探し

小雨ではなく本降りの雨の中、有田陶器市へ！ここ最近あらためて人気を集めている和食器。10年前くらいは私も、おばあちゃん家にあるお皿のイメージしかなく、気にも留めなかった和食器ですが、自分の住む熊本の歴史や地名などの話を度々聞く機会のある中で、古いものの良さに少しづつ気づき始めたこの頃です。 T/B

身近な環境への思い

アイラトビカズラの話



連休中は、今は死語となった「安近短」で近隣をウロツキました。近くに在りながら行ったことが無かった山鹿市菊鹿町の国指定特別天然記念物「相良のアイラトビカズラ」が開花真っ最中でした。この花は、古来「優曇華」(うでんげ)と呼ばれ、開花すれば必ず国家的事象があると伝えられているようで、仏教では3千年に一度開花し、そのとき金輪王が出現し、如来が現れるとの解説でした。近年では毎年4月下旬〜5月上旬にかけて開花しているようです。日本では、ここ一本だけが自生する貴重な植物で、樹齢は約1000年と推定されています。「菊鹿ワイナリー」の玄関先にも位置しており、もっと観光的に活用できないものなのかなと思いました。 T/M

Bさんの釣り紀行〜レッドモンスターを求めて〜



ミズイカ(アオリイカ)釣りの聖地、天草市の通詞島へ!! 昼夜問わずこの波止も釣り吉や家族連れで一杯。ミズイカは一年魚、この時期は産卵の為に岸近くの藻場に集まっているので、大型のミズイカが期待できるチャンスとなっています。生きアジの泳がせ釣りで、静かに竿の穂先に一点集中、アジの泳ぎとイカの乗りを間違わぬように感覚を研ぎ澄ましてミズイカと対峙する技と気力・体力の勝負。今回4日間、昼夜喧騒の中、延べ30時間と粘って差しの勝負をしてみましたが、釣果無く完敗でした。これまでの記録としてミズイカ重量1.8Kgを持っていますが、何時かは3kgを超える座布団級の巨大イカ「レッドモンスター」を釣りたい。 B/I

こんな事業も海外にあった

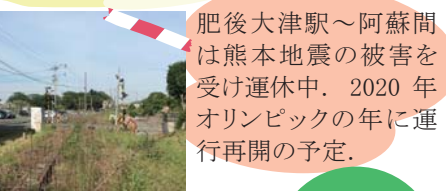


ソウル市内に東西を横断する清溪川が流れており、市民や観光客の憩いの場となっています。この川は、経済成長期に覆蓋事業により埋め立てられ、高架道路が作られました。それから約30年交通渋滞対策・都市環境の改善・歴史や文化の回復のため清溪川復元工事がスタートし、6キロに渡る高架道路を撤去し、現在の姿に生まれ変わったそうです。自然を壊すも戻すも人間なんだなあ〜。 K/S

明日に向かって南阿蘇



南阿蘇村の阿蘇ぼうの里に大きな鯉のぼりと「明日に向かって南阿蘇」の横断幕。背後に阿蘇五岳が絶景の場所。家族連れやカップルなど様々な世代の人々が訪れ景色を楽しんでいた。地元の想い・熱意を感じました。 H/N



肥後大津駅〜阿蘇間は熊本地震の被害を受け運休中。2020年オリンピックの年に運行再開の予定。



身近な土木文化への思い

東石橋(つかいしばし)



先日、ホームセンターで輪石を発見しました。その場で、横に倒した状態でアーチを組んで(鋼橋では面組といいますが)輪石の数を決めました。帰って組み立てたのが左の写真です。注意事項として、まず、きれいな輪石を選ぶ。それなりに重いので、基礎とする石を探してきて角度に合わせて設置。そして、支保工を用意し、爪先に鉄板の入った靴を履いて組み立てる。 M/T

木漏れ日美しいV字谷の村道風景(八代市坂本町)



今から35年前、九州縦貫自動車道建設工事で発生する約30万m3の建設発生土を砂防河川に盛り立て河道を約20m上に付替える土捨場造成工事に係わった。砂防ダム・流路工等施設等の工事は約3年間を要し完成。その関連工事のひとつが村道付替え工事です。完成記念に地域住民等と一緒に村道脇に桜を植樹した。その後が気になり、平成終わりの4月、現地を訪れて木漏れ日が漂う美しい景色を見ることができた。今でも地域住民の手で大切に村道を管理されていることに感謝したい。左写真は75mの高橋脚。 H/N



check! ~身近に感じる初夏の植物~

平成最後の日に



峡谷の断崖は、高さ約80m、延長約7kmにわたり溶結凝灰岩の柱状節理に覆われ、阿蘇カルデラの火山活動で形成された何万年もの歴史が感じられます。また、この峡谷では大正・昭和・平成に架設された三世代のアーチ橋が印象的です。これらは橋梁技術の進歩とともに、大正の石造の橋・昭和の鋼製の橋・平成のコンクリートの橋と、各々異なる材質で架設されています。橋長も約30m、100m、300mと技術が進化するごとに長くなり、厳しい峡谷に大きな橋を架設できるようになったようです。 T/M

県道拡幅に伴う法面対策工事完成後の今(八代市坂本町)



高速道本線工事に必要な大型車両の離合場所として、一車線の県道に待避所設置が生じた。山側拡幅の工事は防護柵設置後、露岩部の切土工事に着手。幸い現場代理人がベテランで崩壊前の異常に気づき、安全に作業員を非難させた。崩壊原因は、まさかの岩盤(CH級)崩壊であった。対策は上部を現場打枠工+アンカー工で押さえ、下部はモタレ式擁壁とした。擁壁天端幅50cmを確保し、その内側直に20cm下げて雨水等が直接擁壁を流れないよう箱抜き構造背面に排水管を設置した縦排水を施した。37年経過した今、健全な状態であった。 H/N



■後記：熊本地震から3年。復興への足跡が見え始めました。報道によると国道57号線北側ルートの開通、豊肥線の開通の目途がたったようです。これらの社会インフラは、復興のシンボルであり、命の道でもあります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は社員の協力で発信しています。